

## 鴨川卓博教授 略歴 及び 著作目録

昭和6年5月31日愛媛県生まれ

### 学歴

昭和25年3月 愛媛県立今治南高等学校卒業

昭和29年3月 広島大学文学部文学科英語学英文学専攻卒業（文学士）

昭和31年3月 広島大学大学院文学研究科修士課程英語学英文学専攻修了（文学修士）

### 職歴

昭和31年4月 愛媛県立三瓶高等学校教諭（昭和33年3月まで）

昭和33年2月 日本大学第二工学部講師嘱託（常勤）

昭和35年4月 日本大学第二工学部専任講師（昭和39年3月まで）

昭和39年4月 鹿児島大学教育学部講師

昭和41年4月 鹿児島大学助教授教育学部

昭和51年4月 鹿児島大学教授教育学部（昭和59年3月まで）

この間、イェール大学客員研究員2度（昭和43年9月～44年8月；昭和47年1月～昭和47年6月）。デューク大学・ボードン大学客員研究員（昭和54年9月～55年8月）。熊本大学文学部、佐賀大学教育学部講師（非常勤・集中講義）兼任

昭和59年4月 神戸市外国語大学教授、大学院外国語学研究科教授（平成6年4月まで）  
この間、関西学院大学文学部、甲南女子大学文学部、神戸商科大学、大阪外国語大学、広島女学院大学文学部講師（非常勤）、岡山大学教育学部、鹿児島大学教育学部講師（非常勤・集中講義）兼任

平成6年5月 広島女学院大学文学部教授

この間、神戸市外国語大学講師（非常勤、7年3月まで）兼任

平成6年9月 広島女学院大学大学院設置申請に係る教員審査において、言語文化研究科英米言語文化専攻修士課程教授（アメリカ19世紀小説研究・アメリカ20世紀小説研究・アメリカ文学演習I担当）M◎と判定

平成7年4月 広島女学院大学文学部教授、大学院言語文化研究科教授

平成8年8月 広島女学院大学大学院博士後期課程設置協議に係る教員審査において、言語文化研究科英米言語文化専攻博士後期課程教授D◎と判定

平成9年4月 広島女学院大学文学部特別任用教授、大学院言語文化研究科博士前・後期課程指導教授（平成13年3月まで）

この間、鹿児島大学教育学部講師（非常勤、集中講義）

平成12年9月 京都女子大学大学院博士後期課程増設協議に係る教員審査において、文学研究科博士後期課程英文学専攻教授DⒺと判定

平成13年4月 京都女子大学文学部教授、大学院文学研究科英文学専攻指導教授（契約教授）

#### 学会における活動等

昭和33年10月～現在

日本英文学会会員

昭和39年10月～現在

日本アメリカ文学会会員、編集委員（昭和57-59年、昭和61-62年）

昭和39年10月～平成13年3月

九州アメリカ文学会会員

1974年～現在 Nathaniel Hawthorne Society（米国）会員、コレスポンデント（1980-88）

昭和56年10月～現在

日本ナサニエル・ホーソン協会会員、理事（56-平成9年）、副会長（平成5-7年）、会長（平成7-9年）、顧問（平成9年-現在）

昭和59年4月～現在

日本アメリカ文学会関西支部会員、地区委員（昭和60年-62年）、評議員（昭和62年-現在）、編集委員（平成3-5年、7年-11年）、事務局幹事（平成5-7年）

昭和62年6月～現在

中・四国アメリカ文学会会員

昭和62年10月～現在

（日本）アメリカ学会会員

## 教育研究業績一覧

### I 著書

1. Nathaniel Hawthorne, *The Marble Faun; or, the Romance of Monte Beni*. Edited with Notes, and Compared with "The French and Italian Notebooks," by Takahiro Kamogawa.

単著 昭和49年、鹿児島大学（援助会）

2. 『「語られた」歴史——ホーソンの歴史物語』

- 单著 平成5年2月、神戸市外国語大学外国学研究所（外国学研究叢書第23冊）
3. 『隠された意匠——英米作家のモチーフと創造』  
共著 平成8年7月、南雲堂 岩瀬悉有、須賀有加子と共編
  4. エモリー・エリオット他編『コロンビア米文学史』  
共著 平成9年1月、山口書店 岩山太二郎他7名で共編
  5. 『セクシュアリティと罪の意識——読み直すホーソンとアップダイク』  
共著 平成11年3月、南雲堂 岩元巖と共編
  6. 『談話、「語り」、ナラティヴ——ディスコースのすがた』  
共著 平成12年3月、大阪教育図書 内藤祐子、洲濱英子、佐藤美弥子、森あおいと共著
  7. 早瀬博範、吉崎邦子編『21世紀から見るアメリカ文学史-アメリカニズムの変容』  
共著（分担執筆） 平成15年1月 英宝社
  8. 『身体、ジェンダー、エスニシティ——21世紀転換期アメリカ文学における主体——』  
共著 平成15年9月、英宝社 伊藤貞基と共編

## II 学術論文

1. "Nathaniel Hawthorne: A Puritan Artist: A Study of *The Scarlet Letter*."  
单著 昭和31年1月（修士論文・広島大学）
2. "Pearl-A Scarlet Letter."  
单著 昭和36年2月、広島大学英文学会『英語英文学研究』7巻2号
3. 「"Rappaccini's Daughter" について」  
单著 昭和37年3月、日本大学第二工学部紀要3巻
4. 「*The House of the Seven Gables*に見られるEdenイメージについて」  
单著 昭和38年3月、日本大学第二工学部紀要一般教育4巻
5. 「Hemingwayの短編に対する一試論」  
单著 昭和40年12月、鹿児島大学教育学部研究紀要（人文・社会科学編）17巻
6. "Rome in The Marble Faun."  
单著 昭和43年12月、九州アメリカ文学会 *Kyushu American Literature*, No. 11
7. 「Nick Adams物語の分析的解釈（I）」  
单著 昭和43年3月、鹿児島大学教育学部研究紀要（人文・社会科学編）19巻
8. 「Nick Adams物語の分析的解釈（II）」  
单著 昭和45年3月、鹿児島大学教育学部研究紀要（人文・社会科学編）21巻
9. 「*The House of the Seven Gables*の"Pyncheon"という姓をめぐって」

- 単著 昭和45年2月、広島大学英文学会『英語英文学研究』16巻1・2号
10. "Textual Editing of the Centenary *Marble Faun*."  
 単著 昭和51年9月、九州アメリカ文学会 *Kyushu American Literature*, No. 17
11. 「"The Magic Barrel"の構成に関する覚え書」  
 単著 昭和51年2月、『鹿児島大学英語英文学論集』7号
12. 「"Novelized Journal"としての *The Marble Faun*」  
 単著 昭和51年3月、鹿児島大学教育学部研究紀要（人文・社会科学編）27巻
13. 「Saul Bellow, "A Father-to-Be"覚え書」  
 単著 昭和53年3月、『鹿児島大学英語英文学論集』9号
14. "History in Hawthorne's 'The Gray Champion'."  
 単著 昭和54年3月、『鹿児島大学英語英文学論集』10号
15. 「*The Marble Faun*の構造再考」  
 単著 昭和58年4月、『榊井迪夫先生退官記念英語英文学研究』（研究社）
16. 「*Tom Sawyer*の語り手と語り」  
 単著 昭和60年10月、神戸市外国語大学『神戸外大論叢』36巻3号
17. 「*Tom Sawyer*の語り手と語り— (II)」  
 単著 昭和61年6月、神戸市外国語大学『神戸外大論叢』37巻1-3号
18. 「Hawthorneの想像力と歴史感覚—*The Scarlet Letter*を拠所として」  
 単著 昭和62年6月、神戸市外国語大学『神戸外大論叢』38巻1号
19. 「妻を寝取らせる男の場<sup>バージョン</sup>合——『ロジャーの話』」  
 単著 平成10年3月、広島女学院大学大学院紀要『言語文化論叢』創刊号
20. 「誓約と罪の意識——Faulknerの *As I Lay Dying* と Hawthorne の "Roger Malvin's Burial"」  
 単著 平成11年3月、広島女学院大学大学院紀要『言語文化論叢』2号
21. 「埋葬の旅——フォークナーの『死の床に横たわりて』とホーソーンの「ロジャー・マルヴィンの埋葬」」  
 単著 平成12年3月、『英語・英米文学のエートスとパトス』（大阪教育図書）
22. 「時代と小市民の生きざま——Rabbit四部作における歴史——」  
 単著 平成12年3月、『言語の空間——牛田からのアプローチ：広島女学院大学開設50周年記念論文集』（英宝社）
23. 「ポストモダン状況における主体の崩壊——"Rabbit" Angstrom の場合」  
 単著 平成14年3月、京都女子大学大学院紀要『英語英文学論輯』創刊号

Ⅲ その他：小論文、書評、および資料研究

1. 「"The Short Happy Life of Francis Macomber" における三角関係」  
単著 昭和42年9月、鹿児島大学英語教育研究会『会報』No. 3
2. "Nicholaus Mills, *American and English Fiction in the Nineteenth Century: An Anti-Genre Criticism and Comparison* (Bloomington: Indiana Univ. Press, 1973)."  
単著 昭和51年3月、日本英文学会『英文学研究』英文号 (1976) 英文書評
3. "Hawthorne Studies in Japan, 1974-1983."  
単著 昭和59年秋期、The Nathaniel Hawthorne Society *Newsletter*, X巻2号
4. 「1981年度ナサニエル・ホーソーン研究書誌」  
単著 昭和57年4月、日本ナサニエル・ホーソーン協会 *Newsletter* No. 1.
5. 「1982年度ナサニエル・ホーソーン研究書誌」  
単著 昭和58年4月、日本ナサニエル・ホーソーン協会 *Newsletter* No. 2.
6. 「1983年度ナサニエル・ホーソーン研究書誌」  
単著 昭和59年4月、日本ナサニエル・ホーソーン協会 *Newsletter* No. 3.
7. 「ナサニエル・ホーソーン研究書誌 (1984)」  
共著 山田省吾と共編 昭和60年4月、日本ナサニエル・ホーソーン協会 *Newsletter* No. 4.
8. 「ナサニエル・ホーソーン研究書誌 (1985)」  
共著 山田省吾と共編 昭和61年4月、日本ナサニエル・ホーソーン協会 *Newsletter* No. 5.
9. 「ナサニエル・ホーソーン研究書誌 (1986)」  
共著 山田省吾と共編 昭和62年4月、日本ナサニエル・ホーソーン協会 *Newsletter* No. 6.
10. 「三宅卓雄著『どう読むかアメリカ文学——ホーソーンからピンチョンまで——』  
(あぼろん社, 1987年, 2,800円)」  
単著 昭和62年9月 日本アメリカ学会『アメリカ学会会報』No. 86. 書評
11. 「ナサニエル・ホーソーン研究書誌 (1987)」  
共著 山田省吾と共編 昭和63年4月、日本ナサニエル・ホーソーン協会 *Newsletter* No. 7.
12. 「ナサニエル・ホーソーン研究書誌 (1988)」  
共著 山田省吾と共編 平成元年4月、日本ナサニエル・ホーソーン協会 *Newsletter* No. 8.
13. 「アメリカ合衆国のニックネームはサムおじさん？」

- 単著（項目執筆）平成元年5月、井上雍雄編『話題源 英語』（東京法令出版）
14. 「ナサニエル・ホーソン研究書誌（1989）」  
共著 山田省吾と共編 平成2年4月、日本ナサニエル・ホーソン協会 *Newsletter* No. 9.
  15. 「ナサニエル・ホーソン研究 Working Check-List 1990」  
共著 山田省吾と共編 平成3年4月、日本ナサニエル・ホーソン協会『事務局だより』 No. 9 Supplement.
  16. 「ナサニエル・ホーソン研究 Working Check-List 1991」  
共著 山田省吾と共編 平成4年4月、日本ナサニエル・ホーソン協会『事務局だより』 No. 10 Supplement.
  17. 「ナサニエル・ホーソン研究書誌（1990-92.3）」  
共著 山田省吾と共編 平成5年4月、日本ナサニエル・ホーソン協会『フォーラム』 No. 2
  18. 「ナサニエル・ホーソン研究 Working Check-List 1992」  
共著 山田省吾と共編 平成5年4月、日本ナサニエル・ホーソン協会『事務局だより』 No. 11 Supplement.
  19. 「ナサニエル・ホーソン研究 Working Check-List 1993」  
共著 山田省吾と共編 平成6年4月、日本ナサニエル・ホーソン協会『事務局だより』 No. 12 Supplement.
  20. ナサニエル・ホーソン研究書誌（1992-93）」  
共著 山田省吾と共編 平成7年4月、日本ナサニエル・ホーソン協会『フォーラム』 No. 3
  21. 「ナサニエル・ホーソン研究 Working Check-List 1994-95」  
共著 山田省吾、辻本庸子と共編 平成8年5月、日本ナサニエル・ホーソン協会『事務局だより』 No. 14 Supplement.
  22. 「ナサニエル・ホーソン研究書誌（1994-95）」  
共著 山田省吾、辻本庸子と共編 平成9年4月、日本ナサニエル・ホーソン協会『フォーラム』 No. 4
  23. 「ナサニエル・ホーソン研究 Working Check-List 1996」  
共著 山田省吾、辻本庸子と共編 平成9年5月、日本ナサニエル・ホーソン協会『事務局だより』 No. 15 Supplement.
  24. 「ナサニエル・ホーソン研究 Working Check-List 1997」  
単著 平成10年5月、日本ナサニエル・ホーソン協会『事務局だより』 No. 16

Supplement.

25. 「ナサニエル・ホーソン研究書誌1996-2000: 03」  
単著 平成13年4月、日本ナサニエル・ホーソン協会『フォーラム』No. 7

IV 学会発表

1. 「*The House of the Seven Gables*における isolation」  
単著 昭和34年10月、日本英文学会中・四国支部第12回大会（鳥取大学）
2. 「"Young Goodman Brown" 断章」  
単著 昭和35年10月、日本英文学会中・四国支部第13回大会（広島大学）
3. 「"Rappaccini's Daughter" について」  
単著 昭和36年10月、日本英文学会中・四国支部第14回大会（愛媛大学）
4. 「*The Marble Faun* 一考」  
単著 昭和40年10月、日本英文学会中・四国支部第18回大会（徳島大学）
5. 「Hawthorne と Rome」  
単著 昭和41年10月、日本英文学会中・四国支部第19回大会（広島大学）
6. "Hawthorne in Rome-With Particular Reference to *The Marble Faun*."  
単著 昭和43年5月、九州アメリカ文学会第14回九州アメリカ文学セミナー（福岡  
アメリカン・センター・九州大学）
7. 「*Walden* を中心に」  
単著 昭和49年5月、中・四国アメリカ文学会第4回大会（広島大学）  
（シンポジウム）「H. D. Thoreau における自然と人間」
8. 「Ohio State 版 *The Marble Faun* の本文校訂について」  
単著 昭和49年10月、日本アメリカ文学会第13回全国大会（東北大学）
9. 「*The Marble Faun* の構成について」  
単著 昭和52年5月、日本英文学会第49回全国大会（明治学院大学）
10. 「Hawthorne における nature」  
単著 昭和52年10月、日本アメリカ文学会第16回全国大会（南山大学）  
（シンポジウム）「ソロー、ホーソン、メルヴィルにおける nature」
11. "John Endicott in Hawthorne's Historical Tales."  
単著 昭和53年5月、九州アメリカ文学会第24回九州アメリカ文学セミナー（福岡  
アメリカン・センター・九州大学）
12. "I-Narrator in *The Blithedale Romance*."  
単著 昭和57年5月、九州アメリカ文学会第28回九州アメリカ文学セミナー（福岡

アメリカン・センター・九州大学)

13. 「テクスチュアル・クリティシズムの立場から」  
 単著 昭和57年5月、日本ナサニエル・ホーソーン協会第1回全国大会（西南学院大学）  
 (シンポジウム)「ホーソーンの研究方法をめぐって」
14. 「ホーソーンの世界感覚」  
 単著 昭和61年10月、日本アメリカ文学会第25回全国大会（北星学園大学）  
 (シンポジウム)「作家の想像力と世界感覚」
15. 「*Roger's Version* について」  
 単著 平成7年5月、日本ナサニエル・ホーソーン協会第15回全国大会（麗澤大学）  
 (シンポジウム)「Updikeの『緋文字』三部作をめぐって」司会・発題
16. 「戯れる語り——ホーソーンとペルソナのストラテジー」  
 単著 平成7年12月、日本アメリカ文学会関西支部第38回支部大会（立命館大学）  
 (講演)
17. 「アメリカ 1960年代と小説」  
 単著 平成11年11月、鹿児島英語英文学会第6回大会（鹿児島県教職員互助会館）  
 (講演)
18. 「自伝と虚構——Philip Rothの*The Facts*の場合」  
 単著 平成13年7月、同志社女子大学英語英文学夏期公開講座（同志社女子大学）  
 (講演)
19. 「身体、ジェンダー、エスニシティ——1990年代以降のアメリカ文学における主体の変容」  
 共著 (シンポジウム 司会) 平成13年12月、日本アメリカ文学会関西支部第45回支部大会（立命館大学）
20. 「なぜHarry Potterは読まれるか」  
 単著 平成14年5月、京都女子大学文学部公開講座（京都女子大学）(講演)
21. 「ポストモダンの自己-フィリップ・ロスの『カウンターライフ』をめぐって」  
 単著 平成14年11月、京都女子大学英文学会2002年度大会（京都女子大学）(講演)
22. 「Mark Twainのファンタジー」  
 単著 平成15年12月、第7回神戸外大英米学会（神戸市外国語大学）(講演)